

指導の手引き 11. 日常生活(5)

homework	ho- にアクセント。	宿題
英語らしい音を出すコツ	home は「ホーム」でなく「ホウム」。唇を丸めるoを使う。-work は唇をあまり開かずに曖昧に「アー」と「ウー」の中間の曖昧な音を出す。	
文法的な注意事項	数えられない名詞。I have a lot of homework. と言うが、I have many ... は言えない。	
文化的な情報、応用表現など	子どもの側が「今日は宿題がある」と言うときには、I have homework today. 教員が子どもたちに伝えるときには、I will give you homework. とか、This is homework. と言えばよい。「宿題をする」は do my (your) homework 。	

magnet	mag- にアクセント。	磁石
英語らしい音を出すコツ	mag-の a は cat や hat と同じ「エ」と「ア」の中間の音なので、「メガネト」のつもりで発音するのが原音に近い。	
文法的な注意事項	数えられる名詞。複数形 magnets は語尾が「ツ」になることに注意。	
文化的な情報、応用表現など	磁石のN極、S極は、それぞれ、N pole, S pole と呼ぶ。 The same poles repel. 「同じ極は反発します」	

book		本
英語らしい音を出すコツ	1音節語なので、「ブッ・ク」にならないように注意。	
文法的な注意事項	数えられる名詞。	
文化的な情報、応用表現など	教科書をテキストと呼ぶのは英語として正しくない。正しくは textbook 。同様にノートも notebook というのが英語の言い方。	

calendar	ca-にアクセント。	カレンダー
英語らしい音を出すコツ	語頭の a は cat や hat と同じ「エ」と「ア」の中間の音なので、「ケァレンダァ」のつもりで発音するのが原音に近い。中間の l が r にならないよう注意。	
文法的な注意事項	数えられる名詞。普通は、the を付けて使うことが多い。	
文化的な情報、応用表現など	カレンダーが何曜日から始まるべきかについては議論がある。北米では旧約聖書に基づき日曜日が最初の日だと考える人が多いので、Sunday がいちばん右に来ようになっている。一方、ヨーロッパでは、月曜日から始まるカレンダーを標準として定めているので、Monday がいちばん左にある。しかし、どちらの地域も土日を weekend と呼ぶことは共通している。	

desk		机
英語らしい音を出すコツ	「デ・ス・ク」のように3音節にしないこと。母音は -e- だけであり、語尾の -sk には母音は含まれないので、1音節の語である。	
文法的な注意事項	数えられる名詞。	
文化的な情報、応用表現など	英語で desk と言えば仕事や作業に使うものでパソコンを置いたり、引き出しなどの収納がついているものを言う。学校の教室にある教卓は、日本の和英辞典では teacher's desk と訳していることが多いが、先生の仕事用机というよりも、授業に必要な本や教具を置くためのもので、teacher's table と呼ぶのがよいように思われる。	

chair		いす
英語らしい音を出すコツ	語尾を長く引き伸ばさないように注意する。	
文法的な注意事項	数えられる名詞。	
文化的な情報、応用表現など	背もたれのないいすは、stool (ストウール) と呼ぶ。	

clock		時計
英語らしい音を出すコツ	母音は o だけの1音節語なので、o と l の間に母音を入れないように注意する。o は「ア」の口の形で「オ」と言う。	
文法的な注意事項	数えられる名詞。	
文化的な情報、応用表現など	壁掛け型や置き時計のことである。腕時計は watch と言う。	

card		カード
英語らしい音を出すコツ	「カ・ア・ド」のように3音節にしないこと。母音は -ar- だけであり、語尾の -d には母音は続かないので、d は舌先を上歯の裏にしっかり付けて止める。	
文法的な注意事項	1枚のカードは a card. トランプのようにセットになっているなら、cardsになる。	
文化的な情報、応用表現など	「トランプをする」は play cards と言う。 I don't want to play cards today. 「今日、トランプはしたくない」	